

樣式 事後評估關係

樣式 事後評估關係



## まちづくり交付金事後評価実施要領

### 第1 目的

まちづくり交付金の事後評価は、交付金をもたらした成果等を客観的に検証して今後のまちづくりのあり方を検討すること及び事業の成果を住民に分かりやすく説明することを目的とする。

### 第2 事後評価の対象とする事業の範囲

対象とする事業は、「まちづくり交付金交付要綱」（平成16年4月14日付け国都事第1号、国道企第6号、国住市第25号国土交通事務次官通知）に基づき、まちづくり交付金（以下「交付金」という。）の交付を受けて実施される事業とする。

### 第3 事後評価を実施する事業

- 1 事後評価を実施する事業は、交付期間が終了する事業とする。
- 2 事後評価を実施する事業の単位は、都市再生整備計画の対象となる地区（以下「計画地区」という。）を1つの事業単位とする。

### 第4 事後評価の実施及び結果等の公表

- 1 事後評価の実施主体は、事業主体である市町村とする。また、間接交付の場合の事業については、市町村が事後評価を実施するものとする。
- 2 事後評価の実施時期は、都市再生整備計画に記載した交付金の交付期間が終了する年度に実施するものとする。

#### 3 事後評価は次により実施するものとする。

##### （1）方法書の作成

事後評価が円滑かつ確実に進められるよう、次の（2）から（5）を実施する前に別紙様式1により事後評価の方法を記載した方法書を作成する。

##### （2）都市再生整備計画の目標の達成状況の確認等

別紙「まちづくり交付金の事後評価項目」に基づき、目標を定量化する指標の目標値（以下「数値目標」という。）の達成状況の確認等を行う。

##### （3）今後のまちづくり方策等の作成

（2）の評価結果に至った要因を整理して、交付期間終了後の計画地区における整備方針を作成する。また、数値目標の達成が見込まれない場合は、今後のまちづ

くり方策の一部として改善措置を作成する。(これらを総称し、以下「今後のまちづくり方策等」という。)

(4) まちづくり交付金評価委員会による審議等

別紙様式2により、(2)及び(3)の評価結果(以下「事後評価原案」という。)を公表し、住民からの意見がある場合は、それを適切に反映するとともに、第5に定めるまちづくり交付金評価委員会の審議を受ける。

(5) 事後評価シートの作成

事後評価原案に、まちづくり交付金評価委員会の審議結果を踏まえ、必要な修正を加えた事後評価シートを作成する。

4 評価結果の公表等の手続きは次の各号のとおりとする。

(1) 方法書の提出

事後評価の実施主体は、方法書を作成した場合は国土交通大臣に提出するものとする。

(2) 事後評価シートの公表等

事後評価の実施主体は、事後評価シートを作成した場合は、これを公表するとともに、国土交通大臣に提出するものとする。

5 事後評価の実施主体は、事後評価シートの公表後に、事後評価内容の見直しを行う必要があると認めた場合には、適宜、事後評価内容の見直しを行うものとする。また、その結果について、適宜、公表するとともに、国土交通大臣に提出するものとする。

6 事後評価の実施主体は、交付期間の中間年度に中間評価を行うことができるものとする。この場合、計画地区の特性を勘案して、第3項(2)及び(3)の項目のうち、必要な事項について評価を実施し、その結果について、適宜、公表するものとする。

第5 まちづくり交付金評価委員会

1 事後評価の実施主体の長は、事後評価の実施に当たり第三者の意見を求める機関として学識経験者等から構成される委員会(以下「まちづくり交付金評価委員会」という。)を設置するものとする。

2 まちづくり交付金評価委員会の役割は次の各号のとおりとする。

(1) 事後評価手続き等に係る審議

まちづくり交付金評価委員会は、事後評価の手続き及び都市再生整備計画の目標

の達成状況の確認等の結果についてその妥当性を審議し、不適切な点又は改善すべき点があると認めた場合は、意見の具申を行うものとする。

(2) 今後のまちづくり方策等に係る審議

まちづくり交付金評価委員会は、事後評価の実施主体の長の依頼により、今後のまちづくり方策等の内容の妥当性について審議し、不適切な点又は改善すべき点があると認めた場合は、意見の具申を行うことができるものとする。

附則

本要領は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

まちづくり交付金の事後評価項目

I. 成果の検証項目

- ①都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
  - ・都市再生整備計画に記載した目標を変更したか。
- ②都市再生整備計画に記載した事業の実施状況
  - ・事後評価の前提として、事業が適切に完了（完成）したか。
  - ・工期内に予定どおり完了（完成）したか。
  - ・都市再生整備計画の変更が、数値目標に影響等を与えたか。
- ③都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
  - ・都市再生整備計画に記載した数値目標が達成されたか。
- ④その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況
  - ・（都市再生整備計画に記載した目標の達成状況を別の視点から説明することが相応しい場合）都市再生整備計画に記載した目標が達成されたか。

II. 実施過程の検証項目

- ①モニタリングの実施状況
  - ・事前に予定した事業のモニタリングを実施したか。
- ②住民参加プロセスの実施状況
  - ・事前に予定した住民参加プロセスを計画通りに実施したか。
- ③持続的なまちづくり体制の構築状況
  - ・交付金事業後につながる持続的なまちづくりの体制が構築されたか。

まちづくり交付金 事後評価方法書

地区

平成 年 月

県 市

(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

## 目次

(1) 成果の評価.....	2
1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況.....	2
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測.....	4
(2) 実施過程の評価.....	5
1) モニタリングの実施状況の確認.....	5
2) 住民参加プロセスの実施状況の確認.....	5
3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認.....	5
(3) 効果発現要因の整理.....	6
(4) 今後のまちづくり方策の作成.....	6
(5) 事後評価原案等の公表.....	6
(6) まちづくり交付金評価委員会の審議.....	6
(7) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定.....	6
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況.....	6

### 記入にあたっての留意事項

方法書提出様式の記入にあたっては、下記の点に留意してください。

1. 事後評価ならびにフォローアップの作業が円滑かつ確実に進められるよう、事後評価に関わる各評価項目の計測又は確認の時期、主体、手法等を具体的に記載してください。
2. 記入項目の詳細や記入例については「方法書作成の手引き」を参照してください。
3. 数値及び文章は、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入してください。



( 1 ) 成果の評価

1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標 1 :		
A : 事前評価時の『従前値』の求め方		
従前値の 基準時点		
実施主体		
計測手法		
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
計測時期		
実施主体		
データの 計測手法		
評価値の 求め方		
確定 / 見 込みの別	<input type="checkbox"/> 確 定	
	<input type="checkbox"/> 見込み	
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方		
フォローアップ の必要性	<input type="checkbox"/> あ り	
	<input type="checkbox"/> な し	
計測時期		
実施主体		
計測手法		

指標 2 :		
A : 事前評価時の『従前値』の求め方		
従前値の 基準時点		
実施主体		
計測手法		
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方		
計測時期		
実施主体		
データの 計測手法		
評価値の 求め方		
確定 / 見 込みの別	<input type="checkbox"/> 確 定	
	<input type="checkbox"/> 見込み	
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方		
フォローアップ の必要性	<input type="checkbox"/> あ り	
	<input type="checkbox"/> な し	
計測時期		
実施主体		
計測手法		

指標 3 :					
A : 事前評価時の『従前値』の求め方					
従前値の 基準時点					
実施主体					
計測手法					
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方					
計測時期					
実施主体					
データの 計測手法					
評価値の 求め方					
確定 / 見 込みの別	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>確 定</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見込み</td> </tr> </table>		確 定		見込み
	確 定				
	見込み				
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方					
フォローアップ の必要性	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>あ り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>な し</td> </tr> </table>		あ り		な し
	あ り				
	な し				
計測時期					
実施主体					
計測手法					

指標 4 :					
A : 事前評価時の『従前値』の求め方					
従前値の 基準時点					
実施主体					
計測手法					
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方					
計測時期					
実施主体					
データの 計測手法					
評価値の 求め方					
確定 / 見 込みの別	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>確 定</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見込み</td> </tr> </table>		確 定		見込み
	確 定				
	見込み				
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方					
フォローアップ の必要性	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>あ り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>な し</td> </tr> </table>		あ り		な し
	あ り				
	な し				
計測時期					
実施主体					
計測手法					

( 1 ) 成果の評価

2) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標) による効果発現の計測

数値指標:					
記述理由					
A : 事前評価時の『従前値』の求め方					
従前値の 基準時点					
実施主体					
計測手法					
B : 事後評価時のデータの計測方法と『評価値』の求め方					
計測時期					
実施主体					
データの 計測手法					
評価値の 求め方					
確定 / 見 込みの別	<table border="1"><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>確 定</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>見込み</td></tr></table>	<input type="checkbox"/>	確 定	<input type="checkbox"/>	見込み
<input type="checkbox"/>	確 定				
<input type="checkbox"/>	見込み				
C : フォローアップ時の『確定値』の求め方					
フォローアップ の必要性	<table border="1"><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>あ り</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>な し</td></tr></table>	<input type="checkbox"/>	あ り	<input type="checkbox"/>	な し
<input type="checkbox"/>	あ り				
<input type="checkbox"/>	な し				
計測時期					
実施主体					
計測手法					

( 2 ) 実施過程の評価

1) モニタリングの実施状況の確認

A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
- イ 都市再生整備計画に記載しなかった
- ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B : 実施事項 ( Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

C : 事後評価時の確認方法

時 期

確 認 先

確認方法

2) 住民参加プロセスの実施状況の確認

A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
- イ 都市再生整備計画に記載しなかった
- ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B : 実施事項 ( Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

C : 事後評価時の確認方法

対 象

時 期

確 認 先

確認方法

3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認

A : 都市再生整備計画への記載状況および実施状況

- ア 都市再生整備計画に実施することを記載した
- イ 都市再生整備計画に記載しなかった
- ウ 都市再生整備計画に記載はないが実施した

B : 実施事項 ( Aで、アまたはウに該当する場合に記入、イの場合には「なし」と記入)

C : 事後評価時の確認方法

対 象

時 期

確 認 先

確認方法

( 3 ) 効果発現要因の整理	
時 期	
実施主体	
検討体制	

( 4 ) 今後のまちづくり方策の作成	
時 期	
実施主体	
検討体制	

( 5 ) 事後評価原案等の公表		
	原案の公表	評価結果(最終)の公表
時 期		
実施主体		
公表方法		

( 6 ) まちづくり交付金評価委員会の審議	
時 期	
実施主体	
設置・ 運用方法	

( 7 ) その他の機会における有識者からの意見聴取の予定	
聴取方法	

( 3 ) ~ ( 6 ) の検討以外に市町村で任意に有識者から意見聴取を予定する場合に記入

( 8 ) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況	
予算措置 の状況	ア 費用は発生しない イ 費用は発生するが、予算措置を講じている ウ 費用は発生するが、予算措置は講じていない エ その他( )

都道府県名	
市町村名	
地区名	
計画期間	
作成者	部署
	役職
	氏名
連絡先	T E L
	F A X
	E-mail

まちづくり交付金 事後評価シート  
地区

平成 年 月

県 市

記入にあたっての留意事項(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

本様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング(一部の結果)・事後評価・フォローアップの3段階について、記入欄を色分けで区分しています。それぞれの結果を該当欄に記入してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
(第一段階) モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の 任意の時期	
(第二段階) 事後評価	評価項目の計測(見込みの値でも可)、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
(第三段階) フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。
3. 記入欄が不足する場合には、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入して下さい。
4. 国への提出後、必要に応じて再提出等のために修正を行う場合は、従前の記載内容は削除せず、消し線を用いて下さい

例1) 数値等の軽微な修正

【修正前】 整備事業 面積 2,300m<sup>2</sup>

【修正後】 2,800m<sup>2</sup>

例2) 文章の修正

【修正前】 ……するものとし、特に、 ~~館のイベント等に関する情報を発信していくものとする。~~

【修正後】 特に、 館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。



様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名		市町村名		地区名		面積						
交付期間		事後評価実施時期		交付対象事業費		国費率						
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業										
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業										
		提案事業										
交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1								あり なし			
	指標2								あり なし			
	指標3								あり なし			
	指標4								あり なし			
指標5								あり なし				
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度 <sup>1)</sup>	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた							
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
住民参加プロセス				都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2 - 2 地区の概要

地区( 県 市) まちづくり交付金の成果概要							
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
		単位:		H		H	H
		単位:		H		H	H
		単位:		H		H	H
		単位:		H		H	H
		単位:		H		H	H
まちの課題の変化							
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)							

# まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3 - モニタリングの実施状況
- 添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4 - 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5 - まちの課題の変化
- 添付様式5 - 今後のまちづくり方策
- 添付様式5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5 - 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6 - 参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

## (1) 成果の評価

### 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標					
B. 目標を定量化する指標					
C. 目標値					
D. その他( )					

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 <sup>1</sup> (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 <sup>1</sup> (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) 1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度 2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度			基準 年度		目標 年度		モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり
指標1									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定 見込み	事後評価			
指標2									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定 見込み	事後評価			
指標3									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定 見込み	事後評価			
指標4									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定 見込み	事後評価			
指標5									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定 見込み	事後評価			

指標	目標達成度 × の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1		
指標2		
指標3		
指標4		
指標5		

1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

2 目標達成度の記入方法

: 評価値が目標値を上回った場合

: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合



添付様式2 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) <sup>1</sup> 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価		
その他の 数値指標1							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標3							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

<sup>1</sup> 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3 - モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		体制構築に向けた取組内容	まちづくり組織名・組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署

添付様式4 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標		指標		指標		指標	
指標名									
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業									
提案事業									
関連事業									

指標改善への貢献度

- ・事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ・事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- ・事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				

添付様式4 - 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標			指標			指標			指標		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

目標未達成への影響度  
 x x : 事業が効果を発揮せず、  
 指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
 x : 事業が効果を発揮せず、  
 指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
 : 数値目標が達成できなかった中でも、  
 ある程度の効果をあげたと思われる。  
 - : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが  
 明確なので、評価できない。

要因の分類  
 分類 : 内的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類 : 外的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類 : 外的な要因で、予見が不可能な要因。  
 分類 : 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署

添付様式5 - まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- B欄に記入します。

添付様式5 - 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

様式5 - の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4 - )を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4 - )を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5 - )を再確認した。

添付様式5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

**添付様式5 - 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-1、2-2に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-1、2-2から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が「×」の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1			H	H			確定			あり	→			
							見込み			なし				
指標2			H	H			確定			あり	→			
							見込み			なし				
指標3			H	H			確定			あり	→			
							見込み			なし				
指標4			H	H			確定			あり	→			
							見込み			なし				
指標5			H	H			確定			あり	→			
							見込み			なし				
その他の数値指標1			H				確定				→			
							見込み							
その他の数値指標2			H				確定				→			
							見込み							
その他の数値指標3			H				確定				→			
							見込み							

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6 - 参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)



## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット					
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見					
-------	--	--	--	--	--

## (6) まちづくり交付金評価委員会の審議

### 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他の委員					

審議事項 1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

## (7) 有識者からの意見聴取

### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

# 都市再生整備計画

まる まる  
地区

まるまる  
県 市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	県	市町村名	市	地区名	地区	面積	ha		
計画期間	平成	年度	～	平成	年度	交付期間	平成 16 年度	～	平成 20 年度

### 目標

大目標 市民と観光客が楽しみ、ふれあうことができる中心市街地の再生

目標1 中心市街地の市民の生活拠点としての機能回復を図る。

目標2 中心市街地の資源を見直して、観光客を中心市街地に誘客する。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

市は、城下町として栄えた 地方の中心都市であるが、昭和40年代以降、市街地の拡大が進行し、郊外型大規模商業施設の立地などにより、相対的に中心市街地の空洞化が進んだ。しかしながら、将来の人口減少時代、高齢社会の到来を想定すると、郊外拡大型の低密度な都市構造では非効率的であることから、コンパクトシティを目指すこととした。そこで、第 次総合計画より中心市街地再生を都市づくりの方向性として明確にし、その核となる重点プロジェクトとして、市街地再開発事業による中心市街地の機能更新と、施設が老朽化し時代のニーズに合わなくなっていた城址公園の再整備・歴史文化の再生による交流の拡大を位置づけ、行政、商店街、住民との連携のもと、構想づくりから事業化へと取り組んできたところである。

#### 課題

- 重点プロジェクトに位置づけている市街地再開発事業と城址公園の再整備を確実に進展させる必要がある。
- この2つのプロジェクトの進捗に合わせて、公共交通や歩行者空間の整備等を実施し、商店街及び城址公園へのアクセスと回遊性を確保して、人が往来できるようにする。
- 賑わいの場を再生するとともに都心居住を推進し、人の姿が見える中心市街地とする。
- 舞台装置(ハード)は行政が行い、商店街やまちづくり会社、市民が担い手となり、かつ、まちづくりの成果を享受することが肝要。そのために、ワークショップや勉強会などにより、行政との対話と支援が必要。

#### 将来ビジョン(中長期)

第 次総合計画では、商業施設や城址公園などをネットワーク化する歩行者動線を整備するほか、沿道における景観整備、市街地再開発による機能更新などにより、市の核としての拠点整備を進めるとしている。また、中心市街地活性化基本計画では、各種都市機能の集積、城下町の雰囲気を感じさせる歴史・文化の保全・活用、回遊路となる道路の舗装や街路灯のグレードアップ、まちづくりの勉強等を商店街や行政が協力して実施を図るとしている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
コミュニティバスの乗客数	千人/年	コミュニティバスの年間乗客数	駅や公共施設を経由しながら商店街・城址公園を結ぶ市民の日常生活の足、観光の足。(10%増)	200	平成15年度	220	平成20年度
中心商店街の歩行者通行量(休日)	人/日	× × 商店街の歩行者通行量(12時間)を計測	魅力ある中心市街地を形成することで、市民、観光客の来街増を図る。(10%増)	9,000	平成15年度	9,900	平成20年度
地区の小売り金額	億円/年	地区の年間小売り商業販売額(商業統計)	中心商店街の売上げの減少傾向を止め、増加させる。(20%増)	800	平成15年度	880	平成20年度
城址公園の来訪者数	千人/年	城址公園の来訪者数を計測	市民の憩いの場で、歴史文化を知る観光拠点に利用増進により、市民と観光客の交流を図る。(30%増)	70	平成15年度	91	平成20年度
地区の居住人口	人	地区の住民基本台帳人口	都心定住人口の維持を図る。	10,200	平成15年度	10,200	平成20年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(交通利便性の改善・回遊性の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミバスやタウンモビリティ、によって中心市街地へのアクセス向上と中心市街地内の回遊性を増進させる。</li> <li>・自動車優先から人間優先の歩行者空間への転換を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちづくり活動推進事業」提案 / コミュニティバス社会実験</li> <li>・「まちづくり活動推進事業」提案 / タウンモビリティ社会実験</li> <li>・「道路事業」基幹 / 市道</li> <li>・「地域生活基盤施設」基幹 / 自転車駐車場</li> <li>・「歩行者空間整備事業」提案 / 歩道・区画街路の整備</li> <li>・「高質空間形成施設」基幹 / 照明・ストリートファニチャー</li> <li>・「まちづくり活動推進事業」提案 / 市民ワークショップ</li> </ul>
<p>整備方針2(市民と観光客が交流できるしかけづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催や休憩、待ち合わせなどに楽しく時間が過ごせる公共空間を整備する。</li> <li>・若い担い手の起業意欲向上と賑わいの連続性を保つ。</li> <li>・城址公園、商店街を核として、市民と観光客との交流を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市街地再開発事業」関連</li> <li>・「公園事業」基幹 / 城址公園</li> <li>・「地域生活基盤施設」基幹 / イベント広場・情報掲示板・観光案内板</li> <li>・「地域創造支援事業」提案 / チャレンジショップ整備運営事業</li> <li>・「既存建造物活用事業」基幹 / 城門修景・修理</li> <li>・「地域創造支援事業」提案 / 郷土歴史博物館</li> <li>・「高次都市施設」基幹 / 観光交流センター</li> <li>・「まちづくり活動推進事業」提案 / オープンカフェ社会実験</li> <li>・「まちづくり活動推進事業」提案 / 市民ワークショップ</li> <li>・「まちづくり活動推進事業」提案 / まちづくり勉強会</li> </ul>
<p>整備方針3(都心居住の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都心居住を推進するために住環境整備と住宅取得支援を進める。</li> <li>・民間主体の公的賃貸住宅の供給を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「公園事業」基幹 / 街区公園・城址公園</li> <li>・「都心居住推進事業」提案 / 住宅建設奨励金</li> <li>・「公営住宅等整備」基幹 / 特優賃・高優賃</li> </ul>
<p>その他</p> <p>【交付期間中の住民参加】          交付期間中においては、各種事業を円滑に進め、目標達成に向けた確実な効果をあげるため、市民ワークショップ、まちづくり勉強会を実施し、地元まちづくり協議会やNPO、民間団体との連携協働に配慮しながらまちづくりに取り組む。</p>	



## 【市町村手持ち】

### 事後評価工程表

方法書に記載した事後評価の各項目の実施時期について、工程表をつくるように や線を引いて下さい。実施予定時期に前後の矛盾がないか、実施期間に無理がないか等（12月下旬の国への提出に間に合うように各項目の予定時期が設定される必要があります）をチェックするのに活用して下さい。また、方法書提出後の事後評価の工程管理にも活用して下さい。

事後評価 実施項目		月												翌年度 以降
		4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	1 上中下	2 上中下	3 上中下	
指標 の 計測	指標 1													
	指標 2													
	指標 3													
	指標 4													
	指標 5													
	その他 指標 1													
	その他 指標 2													
	その他 指標 3													
実施 過程 の 評価	モニタ リング													
	住 民 参 加													
	持 続 的 体制													
効果発現要因 の整理														
今後のまちづく り方策														
事後評価原案 の公表														
まちづくり交付 金評価委員会														
その他の有識 者の意見聴取														
国への提出														
事後評価結果 (最終)の公表														



## 【市町村持ち】

### 方法書チェックシート（記入例）

方法書に記載した事後評価の各項目の実施時期について、工程表をつくるように や線を引いて下さい。実施予定時期に前後の矛盾がないか、実施期間に無理がないか等（12月下旬の国への提出に間に合うように各項目の予定時期が設定される必要があります）をチェックするのに活用して下さい。また、方法書提出後の事後評価の工程管理にも活用して下さい。

事後評価 実施項目		月												翌年度 以降
		4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	1 上中下	2 上中下	3 上中下	
指標 の 計測	指標 1						8/31							フォローアップ H21.4
	指標 2						8/31							フォローアップ H21.4
	指標 3						8/31							フォローアップ H21.4
	指標 4						9/1							フォローアップ H22.3
	指標 5			6/1										フォローアップ H21.9
	その他 指標 1			6/1										フォローアップ H21.9
	その他 指標 2													
	その他 指標 3													
実施 過程 の 評価	モニタ リング													
	住民参 加													
	持続的 体制													
効果発現要因 の整理								—						
今後のまちづく り方策								—						
事後評価原案 の公表									—					
まちづくり交付 金評価委員会														
その他の有識 者の意見聴取														
国への提出														
事後評価結果 (最終)の公表													—	

## 【市町村手持ち】

### まちづくり交付金評価委員会 審議事項チェックシート

このチェックシートは、次のような標準的議事次第を想定して、まちづくり交付金評価委員会で審議すべき事項を列挙していますので、評価委員会を開催する際の参考にして下さい。

なお、資料は、都市再生整備計画、方法書、事後評価原案、指標にかかるデータ（表やグラフ）、地図、写真等、適切なものを準備して下さい。

1. 開 会
2. 市町村の挨拶
3. 委員紹介           必要に応じて座長選出
4. 議 事
  - 議事（1）事後評価制度の概要説明
  - 議事（2）当該地区におけるまちづくりの経緯説明
  - 議事（3）事後評価手続き等にかかる審議
  - 議事（4）今後のまちづくりについて審議
5. 評価委員会後のスケジュール
6. 閉 会

### まちづくり交付金評価委員会 審議事項チェックシート

議事（1）事後評価制度の概要説明		準備チェック	評価委員会 審議済チェック
まちづくり交付金の事業評価のしくみを評価委員会に説明すること。		必須	
事業評価における評価委員会の位置づけや役割について説明すること。		必須	
議事（2）当該地区におけるまちづくりの経緯説明		準備チェック	評価委員会 審議済チェック
都市再生整備計画の内容を評価委員会に報告すること。 どのような目標で、どのような事業を行う計画だったのか、地図等で説明すること。 都市再生整備計画の内容を審議するものではない。		必須	
都市再生整備計画に次のような変更があった場合には、その旨を報告すること。 ・指標や数値目標に影響を与えるような、事業費の大幅な増減や事業の中止または新規追加。 ・指標の差し替えや数値目標の修正。		該当する	
交付金を活用したことによって地区がどのように変化したか、前後の様子を評価委員会に報告すること。 事業箇所の地図や写真等を用いる。		必須	
議事（3）事後評価手続き等にかかる審議		準備チェック	評価委員会 審議済チェック
方法書	方法書に従って事後評価を実施したことを評価委員会に報告すること。 方法書の内容を審議するものではない。	必須	
	方法書と異なる方法で評価を行った場合、その理由を評価委員会に報告し、変更の適切性について確認を受けること。	該当する	
成果の評価	都市再生整備計画に掲げた指標の目標達成度について、 × の評価結果とその理由を評価委員会に説明し、意見を聴くこと。 指標の経年変化及び数値目標の設定の考え方を説明の上、目標達成度の理由を説明することを推奨します。	必須	
	「その他の数値指標」を任意で追加した場合、その指標をあげた理由と評価結果を評価委員会に説明し、意見を聴くこと。	該当する	
	「その他の数値指標」のなかから「代替指標」を位置つけた場合、その理由と評価結果を評価委員会に説明し、意見を聴くこと。	該当する	

	やむを得ず、従前値と同様の計測方法を採用できなかった指標については、その理由及び実施した事実関係を評価委員会に報告し、変更の適切性について確認を受けること。	該当する	
	事業が未竣工で計測不能な指標の目標達成度の評価について、その評価の理由を評価委員会に説明し、意見を聴くこと。	該当する	
	数値目標を達成していない場合でも、交付終了後1年以内に「達成見込み」と判定する場合、その理由を評価委員会に説明し、意見を聴くこと。	該当する	
実施過程の評価	モニタリングを実施した場合、実施した事実関係及び結果を評価委員会に報告すること。	該当する	
	住民参加プロセスを実施した場合、実施した事実関係及び結果を評価委員会に報告すること。	該当する	
	持続的なまちづくり体制の構築ができた場合、実施した事実関係及び結果を評価委員会に報告すること。	該当する	
効果発現要因の整理	効果発現要因の整理にあたって、庁内会議等の実施した事実関係を評価委員会に報告すること。	必須	
	指標ごとに効果発現要因を評価委員会に説明し、意見を聴くこと。 成功要因や失敗要因の整理、事業の組み合わせによる相乗効果を発揮した事項、提案事業の有効性等について。	必須	
事後評価原案の公表	事後評価原案の公表方法・公表期間・公表物等、事後評価原案の公表に関して実施した事実関係を評価委員会に報告すること。	必須	
	公表の結果、意見が寄せられた場合には、どのように対応したか評価委員会に説明し、意見を聴くこと。	該当する	
その他	その他、事後評価において、市町村が独自に実施した事項があれば、実施した事実関係を評価委員会に報告すること。(有識者に独自にヒアリング等)	該当する	
評価委員会の確認	議事(3)の最後に、事後評価の手続きが妥当に進められたことについて、評価委員会の確認を取ること。	必須	
議事(4)今後のまちづくりについて審議		準備チェック	評価委員会 審議済チェック
今後のまちづくり方策	今後のまちづくり方策の検討にあたって、庁内会議等の実施した事実関係を評価委員会に報告すること。	必須	
	今後のまちづくり方策について、評価委員会に説明し、意見を聴くこと。 成功要因を活用し効果を持続するための方策、失敗要因から教訓を得て改善を図るための方策、フォーアップの計画、当該地区のまちづくりの経験の次期事業への活用や他地区での活用の見込みについて。	必須	
フォローアップ計画	フォローアップが必要な場合、フォローアップ計画を評価委員会に説明し意見を聴くこと。	該当する	
その他	その他、今後のまちづくり方策の検討にあたって、市町村が独自に実施した事項があれば、実施した事実関係を評価委員会に報告すること。(有識者に独自にヒアリング等)	該当する	
評価委員会の確認	議事(4)の最後に、今後まちづくり方策の妥当性について、評価委員会の確認を取ること。	必須	
評価委員会後のスケジュール		準備チェック	評価委員会 審議済チェック
評価委員会後のスケジュール	事後評価シートの最終取りまとめと国への提出、評価結果の公表方法・公表時期など、評価委員会後の手続きについて、評価委員会に説明すること。	必須	

## まちづくり交付金事後評価チェックシート

このチェックシートは、これまでに事後評価実施事例から、方法書の提出、事後評価委員会の開催準備時、事後評価シートの提出の各時点において、確認すべき項目をチェックシートの形式で取りまとめたものです。

方法書や事後評価シートの提出前には、このチェックシートを用いて記載内容が適切であるか確認してください。

また、各事項について分からないことがありましたら、「まちづくり交付金評価の手引き」の該当するページをご参照下さい。

### 目 次

- 1．事後評価作業着手前 . . . . . 1
- 2．事後評価方法書提出時 . . . . . 2
- 3．事後評価シート提出時 . . . . . 5

## 1. 事後評価作業着手前

項目	確認事項	確認のポイント	チェック欄		
	「事後評価の進め方」、「方法書作成の手引き」の内容を十分に理解しているか	「事後評価の進め方」、「方法書作成の手引き」には、方法書を作成するにあたり必要な事項が記載されているので、まず、これらの内容を十分に確認することが必要			
	1年間を通した評価スケジュールを適切に理解しているか	12月の事後評価シートの国への提出に間に合うスケジュールとなっているか、実施予定時期に前後の矛盾がないか、実施期間に無理がないか等、「方法書チェックシート」によりスケジュールを確認 特に、議会の開催時期、広報誌・ホームページへの掲載原稿の締切り等、スケジュールの制約となる事項について事前に確認が必要			
	従前値を求めた際のバックデータ等は保管されているか	「(1)成果の評価」は、従前値を求めた際の考え方に基づき記入する必要があるため、まず、従前値を求めた際の考え方、バックデータを確認することが必要			
	都市再生整備計画作成時、又は、モニタリング実施時からの社会、経済情勢等の変化を確認しているか。	社会、経済情勢等の変化により、数値目標達成の前提条件等が変化していることも考えられるため、事後評価の実施前にこれらの状況を確認することが必要			

## 2. 事後評価方法書提出時

項目	確認事項	確認のポイント	チェック欄		
(1) 成果の評価					
<p>&lt; 共通事項 &gt; 1) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況、2) その他の数値指標(当初設定した目標以外の指標)による効果発現の計測</p>					
A: 事前評価時の「従前値」の求め方					
	基準時点は、都市再生整備計画に記載された基準年度と一致しているか				
	基準時点と 求め方の整合が取れているか				
	実施主体は、市町村の部署名となっているか。	データを計測した者でなく、計測者に確認を行なった市町村の部署を記載(例: 駅乗降客数の場合は、鉄道会社名でないことに留意)			
	求め方は、具体的に記載されているか	誰によって実施されても同じ結果を得られるよう、詳しい計算内容(データ名・出典、計算手順、準拠資料等)を記入			
B: 事後評価時のデータの計測方法と「評価値」の求め方					
	計測時期は適切な時期となっているか	「方法書チェックシート」によりスケジュールを確認			
	実施主体は、市町村の部署名となっているか	A: と同様			
	データの計測方法は具体的に記載されているか。また、従前値と異なる手法を用いる場合は、異なる理由が記載されているか	評価値を「見込み」で求める場合、見込み値とする理由を具体的に記入			
	評価値の求め方は、具体的に記載されているか	計測方法はA: と同様に、具体的に記入。特に、評価値を「見込み」で求める場合は、「見込み値」の推計方法を具体的に記入			
	確定 / 見込みの別は適切に判断されているか	「事後評価の進め方」P3-8、9を参照すること			
C: フォローアップ時の「確定値」の求め方					
	フォローアップの必要性は、適切に判断されているか	「事後評価の進め方」P3-8、9を参照すること			
2) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測					
	「記述理由」欄は適切に記載されているか	当該指標を選定した理由は、目標、整備方針等との関係に留意して明確に記載			

(2) 実施過程の評価				
< 共通事項 > (1) モニタリングの実施状況の確認、(2) 住民参加プロセスの実施状況の確認、(3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認				
A: 都市再生整備計画への記載状況および実施状況				
都市再生整備計画との整合が取れているか	都市再生整備計画「様式2 整備方針等」への記載の他、提案事業に住民参加イベント等が記載されている場合は、「ア」を選択			
B: 実施事項				
A: で「ア」又は「ウ」が選択されている場合、本欄に具体的な内容が記入されているか				
A: で「イ」が選択されている場合、「なし」と記入されているか				
C: 事後評価時の確認方法				
各項目は具体的に記載されているか	確認方法は、確認するにあたって必要な資料名・データ名、確認のために実施するヒアリング方法及び会議の内容等を記入			
< 共通事項 > (2) 住民参加プロセスの実施状況の確認、(3) 持続的なまちづくり体制の構築状況の確認				
B: 実施事項、C: 事後評価時の確認方法				
複数の取組主体がある場合、それぞれについて記載されているか	複数の取組主体がある場合は、各項目記載欄を追加し、全ての取組について記載			
(3) 効果発現要因の整理				
(4) 今後のまちづくり方策の作成				
時期は適切に設定されているか	「方法書チェックシート」によりスケジュールを確認			
検討体制は具体的に記載されているか	まちづくり交付金主管課名だけでなく、検討に加わる関係部署名を全て明記			
(5) 事後評価原案等の公表				
時期は適切に設定されているか	「方法書チェックシート」によりスケジュールを確認			
公表方法は具体的に記載されているか	公表する媒体、実施場所、実施期間等を具体的に記入			
公表期間は適切に取られているか	事後評価原案は2週間以上を推奨。事後評価結果は、公表期間は1年以上。フォローアップを実施している場合には、フォローアップが終了するまでは事後評価結果を公表し、フォローアップ結果はさらに1年以上公表する。 「事後評価の進め方」P3-20を参照すること。			

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議				
	時期は適切に設定されているか	「方法書チェックシート」によりスケジュールを確認		
	評価委員会の委員構成は適切であるか。	評価委員会は3名以上の委員で構成され、必ず学識経験者(原則、大学や高等専門学校等の教員)を含める。 「事後評価の進め方」P3-21を参照すること。		
(7) 有識者からの意見聴取				
	(3)～(6)以外の機会に意見聴取する場合にのみ、記載されているか	(3)～(6)における意見聴取は、本欄の記載対象外		
(8) 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況				
	「ア 費用は発生しない」を選択した場合、経費が発生しないことを確認しているか			
	「ウ 費用は発生するが、予算措置を講じていない」を選択した場合、補正予算の議決時期等を検討しているか。			
その他				
	最終ページの作成者・連絡先が明記されているか			
	方法書は所定の様式で作成されているか。	まち交ネット等から入手した所定様式を使用しているか。		

「手引き」とは、「まちづくり交付金評価の手引き」中の「方法書作成の手引き」を指します。 印は、過年度の事例で、多く間違いが見られた内容で



### 3. 事後評価シート提出時

項目	確認事項	確認のポイント	チェック欄		
表紙					
	表紙の年月	・事後評価シート提出の公文書の月(原則12月)となっているか。(最終版を公表する3月ではないことに留意)			
様式2 - 1					
	全般(体裁)	・様式が1枚にまとまっているか。			
	1)事業の実施状況	・添付様式1- 、1- との整合がとれているか			
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況				
	「従前値」、「目標値」、「数値」欄	・標記が「 」等になっていないか。(値を記入してあるか。) ・添付様式2- との整合がとれているか。			
	「目標達成度」欄	・標記が「 」or「 」or「 × 」となっているか。(値は記入しない。 は使わない) ・添付様式2- との整合がとれているか。			
	「1年以内の達成見込み」欄	・数値目標の達成度が「 」の場合は必要ない。 ・該当する場合は「 」と記載してあるか。( は使わない) ・添付様式2- との整合がとれているか。			
	「効果発現要因(総合所見)」欄	・添付様式4- 、4- の内容が適切に要約されているか。			
	「フォローアップ予定時期」欄	・添付様式5- との整合がとれているか。			
	3)その他の数値指標による効果発現状況				
	「従前値」、「数値」欄	・標記が「 」等になっていないか。(値を記入してあるか。) ・添付様式2- との整合がとれているか。			
	「効果発現要因(総合所見)」欄	・添付様式4- 、4- の内容が適切に要約されているか。			
	4)定性的な効果発現状況	・添付様式2-参考記述 との整合がとれているか			
	5)実施過程の評価	・添付様式3- ~ との整合がとれているか。 ・該当する場合は「 」と記載してあるか。( は使わない)			
様式2 - 2					
	全般(体裁)	・様式が1枚にまとまっているか。			
	「従前値」、「目標値」、「評価値」欄	・添付様式2- との整合がとれているか。			
	図面	・鮮明なものを使っているか			
	「まちの課題の変化」「今後のまちづくり方策」欄	・添付様式5- 、5- との整合はとれているか。 ・目標を達成できていない指標がある場合、改善策は記入されているか。			

添付様式1 -				
	「変更」欄	・「あり」「なし」のいずれかに「 」と記載してあるか。(「 」は使わない)		
	「変更理由」欄	・変更「あり」の場合、変更理由が記入されているか。		
添付様式1 -				
	全般(体裁)	・該当しない事業欄を削除していないか。事業欄は削除しない		
	「当初計画」、「最終変更計画」欄	・事業費、事業内容ともに記載されているか。(変更なしの場合も、最終変更計画欄に記載が必要)		
	「当初計画からの変更の概要」欄	・事業費の大幅な変更、新規追加がある場合、本欄に変更の理由が記載されているか。		
	事後評価時の完成状況	・該当する箇所には「 」と記載してあるか。(「 」は使わない)		
添付様式2 -				
	「データの計測手法と評価値の求め方」欄	・具体的に記入されているか。(記入内容はQ & A参照)		
	「計画以前の値(ア)」欄	・不明の場合「 - 」が記入されているか。		
	「数値(エ)」欄	・評価値が記載されているか。		
	「目標達成度」欄	・標記が「 」or「 」or「 x 」となっているか。(「 」は使わない)		
	「1年以内の達成見込みの有無」欄	・目標達成度が「 」or「 x 」の場合、「あり」「なし」のいずれかに「 」と記載してあるか。 ・目標達成度が「 」の場合は記載の必要なし。		
	「達成度 x の理由」欄	・達成見込み「あり」に「 」が記載されている場合、達成見込み「あり」とした理由が記載されているか。		
添付様式2 -				
	「データの計測手法と評価値の求め方」欄	・具体的に記入されているか。(記入内容はQ & A参照)		
	「計画以前の値(ア)」「従前値(イ)」欄	・不明の場合「 - 」が記入されているか。		
	「数値(ウ)」欄	・評価値が記載されているか。		
	「本指標を取り上げる理由」欄	・都市再生整備計画に記載した目標や数値指標との関連性、予期しない事業効果等が具体的に記載されているか		
添付様式2 - 参考記述				
	全般	・評価委員会において、定性的な事業効果が議論された場合、その結果が記載されているか。		

添付様式3 - ~					
	全般	・都市再生整備計画に記載した内容が記載されているか。 ・都市再生整備計画に記載していない場合でも、実施した実績がある場合はその内容が記載されているか。			
	「実施状況」欄	・該当する箇所には「 」と記載してあるか。( は使わない)			
	「実施結果 又は 実施できなかった理由」欄	・実施状況欄で「予定どおり実施した」「予定はなかったが実施した」に をつけた場合は「結果」欄に、「予定したが実施できなかった」に をつけた場合は「理由」欄に記載されているか。			
添付様式4 -					
	「検討メンバー」欄	・学識経験者が含まれる場合には、「氏名・所属・役職」が記載されているか。			
	「実施時期」欄	・検討の実施回数、実施時期(日付の記載が望ましい)が分かるように記載されているか。			
添付様式4 -					
	「指標名」欄	・達成度「 」又は達成見込み「あり」の指標は全て記載されているか。 ・「その他の数値指標」は全て記載されているか。			
	「指標改善への貢献度」欄	・各指標に対して、貢献度「 」 「 」が必ず含まれているか。 ・貢献度「 」 「 」 「 」以外の事業には、「 - 」が記載されているか。			
	「総合所見」「今後の活用」欄	・具体的に記載されているか。			
添付様式4 -					
	「指標名」欄	・目標達成度「 」 「 × 」の指標は全て記載されているか。			
	「目標未達成への影響度」欄	・影響度「 × × 」 「 × 」 「 」以外の事業には、「 - 」が記載されているか。			
	「総合所見」「改善の方針」欄	・具体的に記載されているか。			
添付様式5 -					
	「検討メンバー」欄	・学識経験者が含まれる場合には、「氏名・所属・役職」が記載されているか。			
	「実施時期」欄	・検討の実施回数、実施時期(日付の記載が望ましい)が分かるように記載されているか。			
添付様式5 -					
	「事業前の課題」欄	・都市再生整備計画に記載した課題が適切に記載されているか。			
	「達成されたこと」「残された未解決の課題」「新たな課題」欄	・具体的に記載されているか。			

添付様式5 -				
	「A欄(成果を持続させるために行なう方策)」欄	・添付様式3「実施過程の評価」、添付様式4 - 「数値目標を達成した指標に係る効果の持続・活用」、添付様式5 - 「達成されたこと」との整合がとれているか。		
	「B欄(改善策)」欄	・目標達成度「 <input type="checkbox"/> 」「 <input checked="" type="checkbox"/> 」の指標がある場合、本欄に記載があるか。 ・添付様式3「実施過程の評価」、添付様式4 - 「数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針」、添付様式5 - 「残された未解決の課題」「新たな課題」との整合がとれているか。		
	「効果を持続させるための基本的な考え方」「改善策の基本的な考え方」欄	・具体的に記載されているか。		
添付様式5 -				
	左側の欄(指標名～1年以内の達成見込みの有無)	・フォローアップの必要性の有無に関わらず、添付様式2 - 、2 - に記載した全ての指標について記入されているか。 ・添付様式2 - 、2 - との整合はとれているか。		
	右側の欄(フォローアップ計画)	・評価値が「見込み」の全指標、達成度「 <input type="checkbox"/> 」「 <input checked="" type="checkbox"/> 」の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標が全て記載されているか。		
	「計測方法」	・具体的に記載されているか		
添付様式6				
	「要因分析」欄	・次期計画や他地区への活用がない場合においても、まちづくりの経験が記載されているか。		
	「次期計画や他地区への活かし方」欄	・地区名や内容が具体的に記載されているか(次期計画を予定している場合は必須)		
添付様式7				
	「公表方法」欄	・該当する項目全てが記載されているか。 ・実施しなかった項目については「-」が記載されているか。		
	「住民の意見」欄	・意見がなかった場合には、その旨が記載されているか。		

添付様式8				
	「委員構成」欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験のある有識者については、「氏名・所属・役職」が記載されているか。</li> <li>・その他委員については、「所属(・役職)」まで記載されているか。(氏名の記載があっても可)</li> </ul>		
	「委員会の意見」欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会での意見が適切に記載されているか。</li> <li>・対応として記載した事項が、他の様式に適切に反映されているか。</li> </ul>		
添付様式9				
	「意見聴取した有識者名・所属等」欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「氏名・所属・役職」が記載されているか。</li> </ul>		
都市再生整備計画				
	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画は、事後評価シート提出時点での最終変更版又は精算報告が添付されているか。</li> <li>・表紙には、変更回数(第 回変更)又は精算報告が記載されているか</li> </ul>		
その他				
	削除してよいシート、削除しないシートは正しく理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・削除してもよいシート <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の数値指標を設定しない場合の添付様式2-</li> <li>・全ての数値指標が達成された場合の添付様式4- 、添付様式5-</li> <li>・有識者からの意見聴取を行わなかった場合の添付様式9</li> </ul> </li> <li>・上記シートを削除した場合、添付書類の目次を見え消しとしているか。</li> <li>・「記入にあたっての留意事項」シートを削除しているか</li> </ul>		
	所定の様式で作成されているか。	まち交ネット等から入手した所定様式を使用しているか。		

「手引き」とは、「まちづくり交付金評価の手引き」中の「事後評価シート作成の手引き」を指します。 印は、過年度の事例で、多く間違いが見られた